

平成29年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 岡部 宗光

○ 平成29年度重要事業

事業名	高齢者及び障がい者福祉の向上
目標	<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)を見据え、地域包括ケアシステムの一層の深化・推進を図るため、「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定するほか、「認知症初期集中支援チーム」や「在宅医療・介護連携支援相談窓口」を設置します。</p> <p>また、障がい児・者が自立した生活を営むことができるよう、今後の障害福祉サービスの確保に係る目標等を定める「第5期障害福祉計画」を策定します。</p>
進捗状況	<p>「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」の策定に向け、射水市高齢者保健福祉・介護保険事業計画推進委員会を開催し、アンケート調査項目及び全体スケジュールを決定しました。</p> <p>「認知症初期集中支援チーム」及び「在宅医療・介護連携支援相談窓口」については、地域福祉課内に専門職員を配置するなど相談体制の充実を図り、6月に設置しました。</p> <p>また、「第5期障害福祉計画」の策定については、射水市障がい者総合支援協議会を開催し、ニーズや現況を把握するためのアンケート調査内容について協議しました。</p>
今後の対応	<p>各計画については、推進委員会等を開催し、素案について意見交換を行うほか、市民に向けたパブリックコメントを行い策定します。</p> <p>認知症施策の推進、医療及び介護サービスの切れ目ない提供、障がい者の地域活動の支援など、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。</p>

事業名	子育て支援の推進
目標	<p>子育ての不安が安心や喜びに変わるまちを目指し、赤ちゃんの駅事業、産後ケア事業、母子保健型子育て世代包括支援センターの設置など、新たな子育て支援施策に取り組むとともに、多様な保育ニーズにお応えできるよう、保護者や地域等と合意形成を図りながら市立保育園の民営化を推進します。</p> <p>また、本市の子どもを取り巻く現状を把握し、効果的な支援につなげるため、子どもの貧困に関する実態調査等を行います。</p>
進捗状況	<p>赤ちゃんの駅事業については、民間施設を含む36施設と連携し、施設の情報を「ちやいる.com(どっとこむ)」で公開しました。</p> <p>妊娠期から子育て期にわたる様々な悩みや不安等へ対応するため、子ども子育て総合支援センター内に母子保健型子育て世代包括支援センターを設置しました。加えて、産後の育児支援を行う産後ケア事業を産科医療機関に委託し、日帰りや泊まりで利用できる体制の整備</p>

	<p>を図りました。</p> <p>市立保育園の民営化の推進については、8月に市立新湊保育園と市立新湊西部保育園の統合・民営化に係る引受法人を決定しました。</p> <p>子どもの貧困実態調査については、アンケート調査等の集計・分析作業を進めています。</p>
今後の対応	<p>妊娠期から子育て期までの各ステージに応じた支援を一層推進します。</p> <p>赤ちゃんの駅事業については、該当施設であることを分かり易く表示するためステッカーを作成し、登録する施設に配布します。</p> <p>市立新湊保育園と市立新湊西部保育園を統合した認定子ども園が平成32年4月開園できるよう準備を進めます。</p> <p>子どもの貧困対策として「(仮称)射水市子どもの未来応援計画」を3月までに策定します。</p>

事業名	健康寿命の延伸
目標	<p>糖尿病の患者数が増加していることから、未治療者への受診勧奨訪問を行い、重症化予防を図るとともに、国民健康保険事業において、レセプト情報を活用した新たな「データヘルス計画」を策定し、健康寿命の延伸や医療費の適正化に向けた効果的・効率的な保健事業に取り組めます。</p>
進捗状況	<p>射水市医師会と連携・協力し、国民健康保険被保険者から糖尿病未治療者を抽出し、受診勧奨通知を発送しました。</p> <p>「データヘルス計画」については、レセプト情報の分析を終了し、素案の作成作業を進めています。</p>
今後の対応	<p>未受診者に、再度、受診勧奨を行います。また、糖尿病性腎症患者を対象に保健指導を実施します。</p> <p>「データヘルス計画」の素案について、射水市国民健康保険運営協議会で意見交換を行い、策定します。</p>